

その後悔の山はエベレストより高かった

私くらゐの年には
ると、思い出しなく
もはい過去のこつや
3つはある。何か、
いつまでたっても後
悔の連続、その後悔
の海は、日本海溝の
りも深いだろう。
Mくん、これから
も自問自答さつづけ
ながら、一歩一歩成
長していこう。
Tさん、何気ない
一言、で大事だよ。

他の中では、ポ
ラニアアの方々が
あんなにくさん来
てくれません。みん
なの昼休みの時間は
あのおやめあがで
ゆつたりとしたもの
にはなっています。
かりと感謝の気持
ちを込めて、これか
らもうこうさつさ
でした」や「ありが
と」の言葉が大切
にしていましよう。

Sくん、一組の
いこうをいっばい
発見できよかったに
ね。集金力のある一
組、助け合える一組
をこれからね。
さういえば、おま
の操出物、一組は3
クラスの中で断トツ
にいいよ。
もうすぐ冬休み。
有終の美をみられる
ように、残りの日々
を大切にしよう。

今までのいろんな行事、体育大会や文化祭
委員会さまざまな行事に取り組んできました。
体育大会では、体育の時間にラジオ体操か
ら自分が出る競技までやってきました。
そして、体育大会当日では、せいかを出し
きったと思います。
文化発表会では、学年で何かをつくったり
クラスで何かをつくったりしました。
そんな取り組みの中で僕が一番良かったな
あと思う取り組み、行事は文化発表会です。
なぜ文化発表会のことを良いなと思った
のは1年の出し物の、ドットアートです。
このドットアートはみんなが無言で一生けん
命集中していたからです。
たまに休んでいるがいて、自分がおわつ
たからというて、放課後のうまで友達のを
やっているから良いなと思いました。

この長い4ヶ月ほどの中、どれだけ無駄す
ぎる時間があっただろう。その間に何がで
たであろうことを後悔する自分がいた。2学
期は、忘れ物が続いたような気が少しだけす
るが、それでもエポイントはある一方。
どうにかマイナスまで上げたいところだが、
このペースだと一生できないだろう。なぜあ
の時忘れてしまったのか、なぜあの時かはん
にいれなかったのか、その後悔の山はエベ
レストより高いだろう。勉強もやる気なく、最
悪の時は寝ているという事態まで起すほど
の怠人だ。それでもなぜだろうか。どうやら
忘れたいようにする自分と、勉強をして成
績を上げたい自分がいるようだ。今、この作
文を書いているとき、自問自答しながら書い
ているが、このへんで止めたい。なぜなら、書
きたいこれからのことは、忘れ物を減らし続け
る。それが今の僕の目標だから。

この二学期をふり返ってみると、一学期の
ときとくらべて出来るようになったと、出
来なくなったとがあります。まず出来るよ
うになったとは、チャイムが鳴る少し前か
ら席にすわるということや、5分前行動を常
に意識するなどということが出来るようにな
りました。逆に出来なくなりました。
も少しだけあります。それは、ホランテ
さんに給食を返していくとき、こちそうさ
までしたということが少し出来なくなると
思います。だから、三学期はちゃんとホラ
ンテマを返さないとさうさまでしたや、あり
がとうをいいますなどを言えるように意識し
ようと思います。ほかにも自分が出来ていな
いことがあると思うから、三学期は自分の出
来ていなかったことができるようになるように
頑張ります。

55 期生の仲間たち

東三国中学校 1年生学年通信 vol.36 2015年12月11日(金)

1<み
Mくん

1<み
Tさん

1<み
Sくん